

# 10年後の鳥取砂丘が見えてきた。

[賑わいと交流]の東側  
+ [落ち着きと学び]の西側へ

4  
vol.

## 東西の整備コンセプトと新たな機能配置が議論されました

9月27日に初回が開催されたこの上質化ワーキンググループ会議（以下、WG会議）も、あっという間に第4回（最終回）となりました。12月17日午後の第4回会議では、自然公園財団を通じて環境省に提出される、鳥取砂丘エリアで上質化事業を実施するための「国立公園利用拠点計画」の原案が提示されました。原案では、歩行距離圏に配慮した東西3つの利用拠点ゾーンと、各ゾーンでの整備コンセプトに基づくサービス機能の将来を睨んだ配置・展開方法を説明しています。東側のまちなみを形成するゾーンでは、建築前面と歩道とを一体的な賑わいある滞在場所として整備することを狙い、また西側の2つのゾーンでは落ち着いた時間を過ごせる環境と歩行者動線を整えつつ、学び・子育て・宿泊・

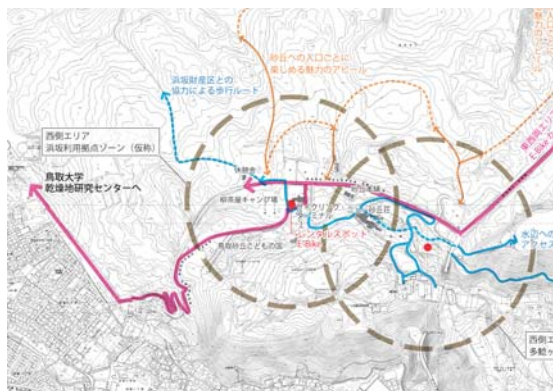


### 鳥取西 IC から山陰近畿道への 接続ルート案が決定しました

WG会議の冒頭で、山陰近畿道（鳥取一福部ルート）の路線が決定した旨の話題提供がありました。将来完成した際には、砂丘や空港、賀露港へのアクセスを劇的に変えるため、砂丘観光のスタイルや事業運営に大きな影響を与えそうです。

自然体験などの個性的な機能が育つ近未来の将来像を示しました。会議では、第3回までの意見交換の成果を計画案に反映させるための修正や、より高い実現性を目指した意見、今後の民間事業者の理解や参画に結びつくための合意形成を意識した提案など、多くの意見を出席者の方々からいただきました。これから「国立公園利用拠点計画」の最終提出へ向けてのラストスパートですが、計画策定はゴールではなくスタートです。来訪者の体験時間を豊かに演出し、満足度と再訪する気持ちを向上させる取り組みは、これからも絶え間なく続いてゆきます。

# 鳥取砂丘エリア「利用拠点計画」早わかり



上質化事業における砂丘エリアの空間の骨組みが提案されました（歩行圏・動線・施設機能等）  
（※図版は西側の2つのゾーンを拡大したものです）



整備後の利用拠点のイメージパスが示され、さらなる改善方策について様々な意見が出ました  
（※図版は西側の「浜坂側ゾーン」の拠点となる、現在のサイクリングターミナル周辺のイメージです）

## WG 会議の成果のゆくえ



会議意見をもとに修正を加えながら、2 月中には自然公園財団を通じて環境省へ計画書が提出されます。また砂丘未来会議（松原雄平会長）への提言書の形にまとめられ、多くの方々に見ていただく予定です。砂丘西側エリアに関しては、鳥取市の「鳥取砂丘西側整備構想（改訂版）」として市独自の位置付けがなされ、今後の市の砂丘における観光施策に長期的に反映されるとともに、関係機関や事業者の方々との合意形成に活用されることが期待されます。

## ■東西の3つの利用拠点ゾーンと個性的な整備コンセプト

集団施設地区の東側全体の整備コンセプトを「交流・賑わいの愉しみ」=集客力とカジュアルさの訴求、また西側全体の整備コンセプトを「砂丘本来の自然・風景の魅力を体感」=スマートな落ち着き感、と設定した上で、「馬の背側ゾーン」「多鯨ヶ池側ゾーン」「浜坂側ゾーン」の3つのゾーンを異なるターゲットを想定しながら各ゾーンの整備コンセプトを提案しています。

例えば「多鯨ヶ池側ゾーン」では、

- ・自然と向き合う特別な時間と体験を提供できる
- ・滞在型のゆったりした空間を整備する

また「浜坂側ゾーン」では

- ・来訪者に加え地元住民や子どもたちをターゲットとする
  - ・自然だけでなく歴史文化も楽しめる場づくり
- などとしています。

## ■歩行環境の整備によるゾーンのつながり

上質化事業を進める中で、駐車場から各施設あるいは砂丘の入口までを円滑で安全に誘導し、歩くことを楽しめるような環境が必要です。さらに3つのゾーンを相互にレンタル自転車を含めた散策や探勝で結ぶため、自転車歩道等の延長やオープンスペースとの連携整備にも取り組みます。

## ■鳥取砂丘東西エリアの色彩と事業イメージパス

整備コンセプトを底支えするのは、様々な建築の外観意匠や、抑制の効いた工作物、広告物類の様相です。東西各エリアの色彩イメージと、要所となる場所のイメージパスを示し、上質化計画の実施による効果を具体的なビジュアルで示しています。

## 砂丘における事業者の皆様へ

上質化事業は5年間に渡る長期事業です。民間事業に対する補助メニューが用意されており、次年度以降もさらなる新規のご参画をいただくことが可能です。詳しい事業メニューや事業条件についてお問い合わせください！

鳥取市観光経済部

観光・ジオパーク推進課 担当：米澤，谷島まで

Tel. 0857-30-8293 FAX. 0857-20-3947  
E-mail: kankou@city.tottori.lg.jp